

眠れぬ墓

- 1 「恋人よ 今日は風が吹いている
雨がぱらぱら落ちている
ぼくの恋人はおまえだけ
おまえは冷たい墓に眠っている」
- 2 「ぼくは誰にも負けないくらい
おまえのためにつくすのだ
おまえの墓にすわって泣こう
十二か月と一日の間」
- 3 「十二か月と一日が過ぎて
死んだ女が話しだした
「ああ わたしの墓にすわって泣いて
眠らせないのは誰」
- 4 「恋人よ おまえの墓にすわって泣いて
眠らせないのはこのぼくだ
土のように冷たいその唇に
ぼくは接吻をしたいだけ」
- 5 「土のように冷たいこの唇に接吻をしたいだつて
わたしの息は土くさい
土のように冷たいこの唇に接吻をすれば
あなたの命は長くない」
- 6 「あなたとわたしがよく歩いた
向うにみえる緑の園に
いちばんきれいに咲いていた花も
いまは枯れて茎ばかり」
- 7 「恋人よ その茎もからからに乾いている
そのように二人の心も枯れるでしよう
恋人よ 神様がお召しになるまでは
あなたも一人でいてください」

(薮下卓郎訳)